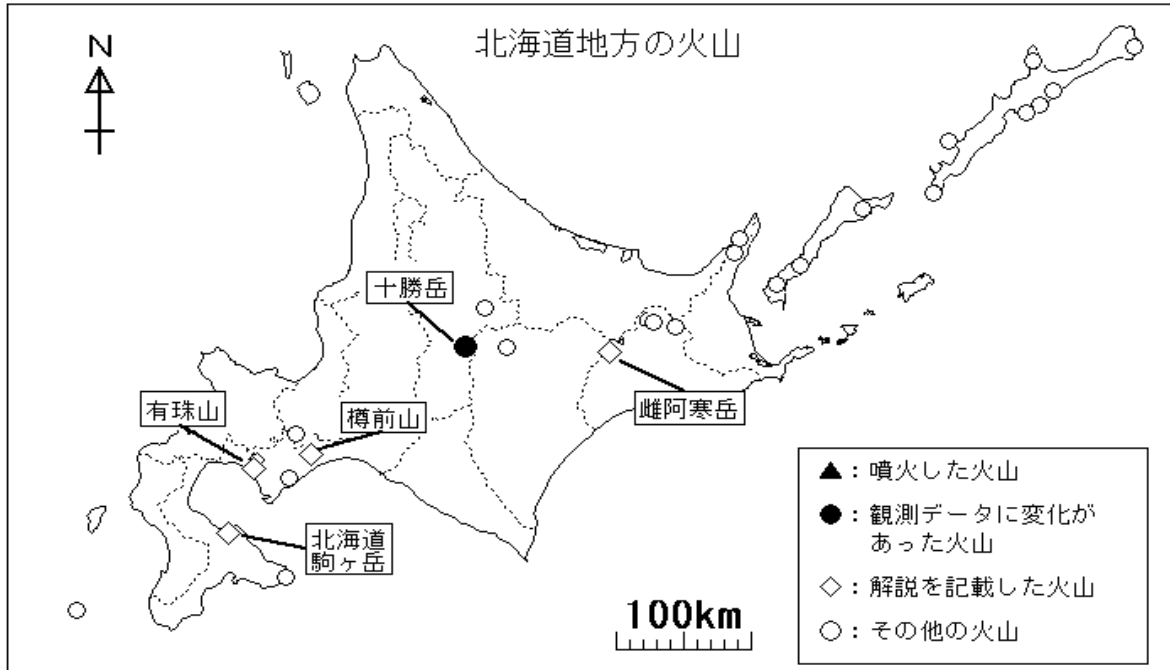


北海道地方の火山活動解説資料（平成14年9月）

札幌管区気象台 火山監視・情報センター



雌阿寒岳：観測データに大きな変化はなく静穏に経過しました。長期的に見るとボンマチネシリ 96-1 火口では高温状態が継続しており、地震活動も時々活発化するなど火山活動は高いレベルを維持しています。

十勝岳：9月22日に小さな火山性微動が発生しました。また、9月7日に地震がやや増加しましたが、いずれも噴煙などの表面現象に変化はありませんでした。62-2 火口は高温で活発な噴煙活動が続くなど火山活動は高いレベルを維持しています。

樽前山：今期間、顕著な地震増加などは見られませんでした。1996年以降地震活動が活発化しており、A火口をはじめドーム周辺では熱的活動が活発な状態となっていることから、火山活動の推移に注意が必要です。

有珠山：火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

北海道駒ヶ岳：地震増加や火山性微動はなく静穏に経過しました。噴煙活動も弱く地殻変動にも特別な変化は認められません。しかし、今年2月～3月には地震がやや増加し、7月には山体のやや深いところを震源とする地震により森町姫川で震度1を観測したこともあり、今後も火山活動の推移を注目する必要があります。

次の火山活動解説資料（平成14年10月分）は11月8日に公表します。
（札幌管区気象台ホームページ <http://www.sapporo-jma.go.jp>）
（気象庁ホームページ <http://jma.go.jp>）